



Nakagomi

# 中込商店街だより

## 第132号

中込商店街のお得情報・お役立ち情報を毎週お届けします。次回は6月14日に発行します。

本紙ブログ版は [中込商店街だより](#) [検索](#)



発行 中込商店会協同組合  
〒385-0051 佐久市中込2-26-3  
TEL 0267-62-5714・FAX 62-0361  
Web <http://nakagomi.jp>  
Mail [info@nakagomi.jp](mailto:info@nakagomi.jp)  
後援 佐久商工会議所



たくさんの商品が集まりました。

みなで中込もつてえねえ市でリサイクルを楽しもう。

# もつてえねえ市 6月7日開催

「第3回中込もつてえねえ市」は、6月7日(土)午前11時〜午後2時開催。現役バリバリのリサイクルアイテム満載で今回も目が離せません。

手提げ袋を持った出品者が足早に会場へと入り、十数名の商店会スタッフが手分けをして受け付け作業に当たりました。中にはご家族やお子様まで動員して両手いっぱいの商品を運び込むヘビーユーザーの方も見受けられ、終了時間の9時前には用意した展示スペースはいっぱいとなり千点近い商品で埋め尽くされました。

「もつてえねえ」から始まる生活。実は私も「もつてえねえ」リサイクル品が大好物。新しくきれいな物も勿論いいんですが、少し古いモノやじっくり使い込ませたモノもまた実に味わい深い。いい雰囲気醸し出していいものがあります。

見かけますし、生活の中には私たちの知らないアイデアがいっぱい埋められています。古着を素材とするバッグや靴や縫製技術を活かしたかなりハイレベルなリサイクルと言えるところ。このようにアイデア次第で新たな名前をあたえられ生まれ変わるモノたちもあります。想像をふくらませて色んなアイデアを考えるのもリサイクルを楽しむ一つの秘訣ではないでしょうか。

### おもしろ食べ物紀行第16回 「豚肉・国内編」

さて前回イペリコ豚のお話をしましたが、今回は国内編ということで日本のブランド豚のお話をいたします。

わが長野県内においてもブランド・銘柄豚は純味豚・信州野豚・信州ポークSP・F豚・信州ポークみゆき豚・千代福豚・ハヤシファーム豚・駒ヶ岳山麓豚・舞豚等々ざっと数えただけでもこれだけあります。まして全国となれば……書き尽くせません。

そこで今回は沖繩の幻の島豚「アグー」についてお話ししましょう。そのルーツは中国より渡ってきて1980年代以前は絶滅に瀕した豚なんだそうです。現在においても飼育頭数が限られ沖繩以外では、まず流通していない。よって幻と呼ばれています。

それでは味はというと：アグーは他の豚に比べ旨味成分のグルタミン酸、アミノ酸が倍以上多く、逆にコレステロールがかなり低いという点で、いたって健康な豚なんです。

沖繩の方々の長寿の秘密のひとつとあって良いと思えます。

わが長野県も全国に誇る長寿県ですが、食における文化の違いは明白ですね。

この豚は脂の質が全く違って、融点が低いので口にくくなくサラツとして口に残らないそうです。ただしロースでキロ7000円ぐらいいと高価なものです。でも価格だけの価値はあるそうですよ。

シエフも食べたことがないので、ぜひ一度食べてみたいと思っています。それではまた次回に。

(byグルマン丸山)

### お知らせ

今回の土曜日は6月7日に「もつてえねえ市」の青空市として開催します。会場がいつもと違い八十二銀行横です。(枠広告参照)

午後1時30分、駅前グリーンモール

中央グリーンモール

6月10日は火曜日。同じく野菜・果物の大特価です。



群馬または埼玉産 露地きゅうり 10本入袋 ¥200  
群馬または埼玉産 桃太郎トマト 大箱 ¥850  
群馬産 なす 1袋 ¥150  
その他、野菜・果物大特価にて販売致します  
茂木青果 ☎ 67-5893

この味 たまんね〜っ!!  
五目おこわ 1パック 300円  
中込駅前 清水屋旅館 ☎ 63-1133

ちよつと昔の写真展  
期日：6月8日〜7月5日  
会場：中込交流センター  
あなたの知らない中込がここにありませう

ぽえむ特製 うどん...400円  
1パック 鯉のからあげ...300円  
2パック...500円  
喫茶ぽえむ ☎ 62-8760

# もつてえねえ市 青空市

昭和50年代の区画整理事業で大変貌を遂げる前の中込の町並みや、その後のイベント写真などを多数展示します。

若い人達は知らない中込の姿、40代以上の方には記憶の隅にある懐かしい商店の写真などが並びます。子供のころ遊んだ町のような学生時代に毎日歩いた通り

### なかごみ七夕迫る

まだ6月になったばかりなのに大げさなタイトルですみません。今年は、春から先5月、6月と気温が上がり、皆さんもちよつと季節感がずれてしまっているのではと思います。中込商店街としては、毎年東信地方で行われる、夏祭りの口切として「なかごみ七夕祭り」を開催する都合上、読者の皆さんにも心の準備をして頂くとうと毎週お伝えしている次第です。

すでに、7月5日(土)に向け各ブロックでは着々と色んなイベントの計画が立てられ、七夕作り作業も始まっています。

おなじみとなりました小学生の皆さんが願い事を書いた七夕人形や、保育園、幼稚園の子供さんたちによる七夕にちなんだ可愛らしいお絵描きも展示されます。お祭りの数日前には会場と



1969(昭和44)年 佐久鯉まつり 丸正商店提供



七夕人形は、佐久地方に古くから伝わる行事の一つで、笹竹に願いごとや詩歌を書いた短冊とか、人形をつくって吊して飾り、その前に、季節の野菜や果物を供えて、機織・裁縫・書道・詩歌等の上達を祈ることが行われていたそうです。

1週間ほど展示されていますので、雑踏をさけ、お子様と又、ご夫婦でゆっくりと風情ある昔に触れ、心癒されるひと時を過ごされるのもなかごみ七夕の楽しみ方の一つかもしれません。